

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学実習Ⅲ		池田 恵子 他		3年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
実習	2(90)	県立大島病院	前期・後期	月～金	8:00～15:00
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員が担当している。				
学修内容	周手術期の患者の援助を通し、早期回復および生命維持に関する看護を学ぶ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 急性期における患者の身体的・精神的・社会的特徴が分かる。</li> <li>2. 急性期における看護の特徴が理解できる。</li> <li>3. 手術を受ける患者を理解し安全・安楽に手術を受けるための援助ができる。</li> <li>4. 手術見学を通して、術後予測される身体的、精神的苦痛を理解できる。</li> <li>5. 生命維持のための呼吸・循環管理、維持の現状が理解できる。</li> <li>6. 早期回復のための術後患者の看護が理解でき実施できる。</li> <li>7. 不安、苦痛を緩和するための援助の方法を学び、その一部を実施できる。</li> <li>8. 社会復帰を目指す患者の援助ができる。</li> <li>9. 家族への援助の必要性が理解できる。</li> <li>10. 行った看護を評価できる。</li> </ol>				
事前学習	周手術期の看護、消化器疾患患者の看護、運動器疾患患者の看護				

### 授業計画

No.	授業内容
1日目～15日目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前学習を提出する。</li> <li>2. 受け持ち患者：回復期にありリハビリテーションが必要な患者 日常生活援助を必要とする患者</li> <li>3. 実習の進め方 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1日目は学内にてオリエンテーションを行う。</li> <li>2) ヘンダーソンの理論に基づいた基本的看護を行うための情報収集をし、看護過程を展開する。</li> <li>3) 2週目にケースカンファレンスを実施</li> <li>4) 1～2名の患者を受け持つ</li> <li>5) 可能な限り手術見学を行う</li> <li>6) 最終日は学内にてリフレクションおよび課題学習を行う</li> </ol> </li> </ol>
履修上の要件	成人看護学Ⅰ～Ⅴを修得していること
テキスト、教材、参考書	領域別実習要項 系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学1～15 医学書院 系統看護学講座別巻 成人外科看護総論 医学書院
成績評価の方法	成人看護学実習 評価表に基づいて出席状況、実習内容、実習記録、態度の総合評価
備考	